「どぼくカフェ「近代の京都を形づくる土木：岡崎を巡る」～高橋先生（京大）と共に～

① 臥龍橋

天正年間に豊臣秀吉によって造営された三条大橋と五条大橋の橋脚、梁を使用

② 平安神宮神苑

池泉回遊式庭園。池水は琵琶湖疏水から地下トンネルを通して取水。

③ 京都市電蹴上線（岡崎界隈）

第4回内国勧業博覧会会場となった岡崎公園へのアクセスとして建設。二条通りを東進して蹴上へ

④ 琵琶湖疏水記念館

琵琶湖疏水竣工100周年を記念して1989年8月に開館。琵琶湖疏水の多岐にわたる役割を紹介。

⑤ インクライン

高低差36m、全長582m、舟運ルートの一区間をなす傾斜鉄道で動力は蹴上発電所。

⑥ ねじりまんぽ

扁額の「陽気発處」は朱子の「陽気発する処、金石また透る、精神一到何事も成さざらん」の一節から取られたもの。この難事業に立ち向かう心意気をしたためたものといえる。揮毫者：北垣国道

⑦ 水路閣

レンガ・花崗岩造りのアーチ型橋脚。琵琶湖疏水の視線で、現在も大文字山の麓に沿って、南禅寺、若王子、高野、下鴨、堀川へと毎秒約2tの水が流れている。

⑧ 蹴上発電所導水管

蹴上発電所に送水する2本の水圧鉄管（導水管）。現在も発電に利用されている。

⑨ 田辺朔郎像

琵琶湖疏水や日本初の水力発電所・蹴上発電所の建設など日本の近代土木工学の礎を築く。